

# 平成30年度 第1回

## 受注登録企業動向調査結果報告書

### <概況>

受注量については一服感があるものの、全体的には依然堅調に推移しており、今後の受注見通しについても、若干の増加を見通している。  
受注単価、資金繰り共に大きな変化は見られないが、一部では受注単価の低下や、昨年来の材料・部品の仕入れ値高騰が懸念される。  
また、採算状況については「赤字」と回答した企業数が近年では最小となり、「受注余力なし」と回答した企業も半数を上回るなど、依然として府内中小企業における受注状況は活況であるといえる。

### <項目別の特徴>

- (1) 受注量 : 全体的な基調は不変であるが、一部では減少傾向が見られる。
- (2) 受注見通し : 前回に比べて「増加」の割合が微増、「減少」の割合も低下し、若干の増加の見通し。
- (3) 受注単価 : 全体として大きな変化は見られないが、一部では受注単価の低下が見られる。
- (4) 資金繰り : DI値は前回と同様であったが、「好転」、「悪化」の回答がそれぞれ増加。
- (5) 採算状況 : 「赤字」企業数は、近年では最少となっている。
- (6) 受注余力 : 「受注余力なし」とする企業が51.9%と半数を上回り、前期と比較して6.9ポイントの増加となった。

(注) 本報告書で使用するDIとはディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したとする企業の割合から「減少」・「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

調査対象期間 平成30年4月～6月  
(平成30年6月末集計)

## 1. 調査概要

### (1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせん  
の円滑化を図る。

### (2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300社

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	18社	② 金属製品関係	68社
③ 一般機器関係	85社	④ 電気機器関係	54社
⑤ 輸送用機器関係	18社	⑥ 精密機器関係	21社
⑦ 樹脂製品関係	36社		

### (3) 調査時点

平成30年6月末日現在

### (4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

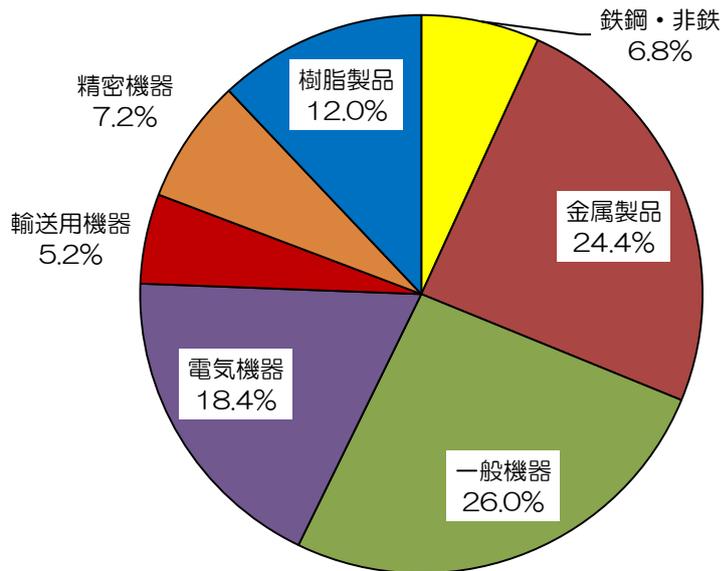
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

### (5) 回答状況

① 調査対象企業数	300社		
② 回答企業	250社		
③ 内訳			
鉄鋼・非鉄関係	17社	( 6.8% )	
金属製品関係	61社	( 24.4% )	
一般機器関係	65社	( 26.0% )	
電気機器関係	46社	( 18.4% )	
輸送用機器関係	13社	( 5.2% )	
精密機器関係	18社	( 7.2% )	
樹脂製品関係	30社	( 12.0% )	
④ 回答率	83.3%	[前回：81.7%]	

## 2. 回答企業の概要

### (1) 業種別回答企業の内訳



### (2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	5 2.0%		1 1.6%		1 2.2%			3 10.0%
~300万円	13 5.2%		3 4.9%	1 1.5%	4 8.7%	2 15.4%	1 5.6%	2 6.7%
301~999万円	13 5.2%		4 6.6%	6 9.2%		1 7.7%		2 6.7%
1000~2000万円	143 57.2%	10 58.8%	39 63.9%	39 60.0%	26 56.5%	2 15.4%	11 61.1%	16 53.3%
2001~5000万円	59 23.6%	5 29.4%	13 21.3%	17 26.2%	12 26.1%	2 15.4%	4 22.2%	6 20.0%
5000万円超	17 6.8%	2 11.8%	1 1.6%	2 3.1%	3 6.5%	6 46.2%	2 11.1%	1 3.3%
合 計	250 100%	17 100%	61 100%	65 100%	46 100%	13 100%	18 100%	30 100%

### (3) 業種別・従業員別回答企業数

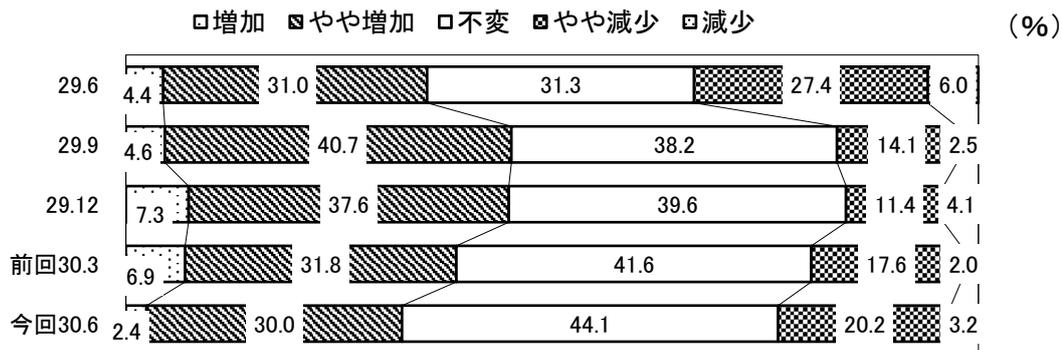
(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1~5人	19 7.6%	4 23.5%	4 6.6%	4 6.2%	3 6.5%			4 13.3%
6~10人	28 11.2%	2 11.8%	4 6.6%	7 10.8%	4 8.7%	3 23.1%	4 22.2%	4 13.3%
11~20人	75 30.0%	2 11.8%	20 32.8%	29 44.6%	10 21.7%	1 7.7%	5 27.8%	8 26.7%
21~30人	34 13.6%	3 17.6%	14 23.0%	7 10.8%	4 8.7%		2 11.1%	4 13.3%
31~50人	37 14.8%	3 17.6%	8 13.1%	8 12.3%	11 23.9%	2 15.4%	2 11.1%	3 10.0%
51人以上	57 22.8%	3 17.6%	11 18.0%	10 15.4%	14 30.4%	7 53.8%	5 27.8%	7 23.3%
合 計	250 100%	17 100%	61 100%	65 100%	46 100%	13 100%	18 100%	30 100%

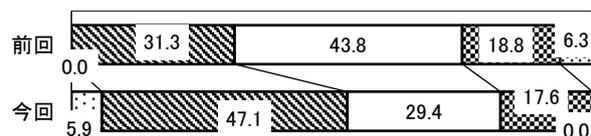
### 3. 調査結果

#### (1) 受注量について

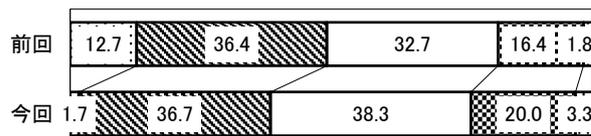
##### ①全体



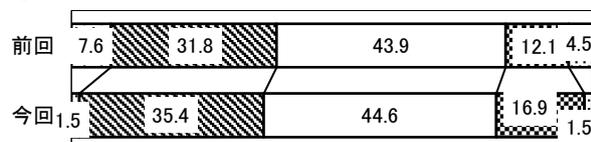
##### ②鉄鋼・非鉄



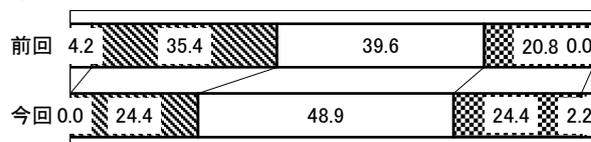
##### ③金属製品



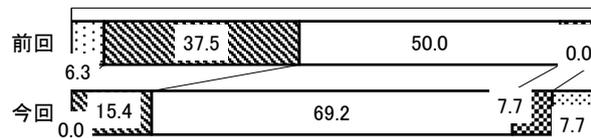
##### ④一般機器



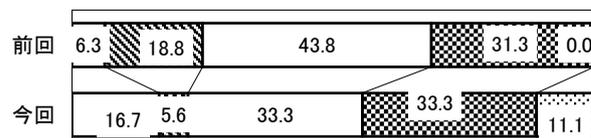
##### ⑤電気機器



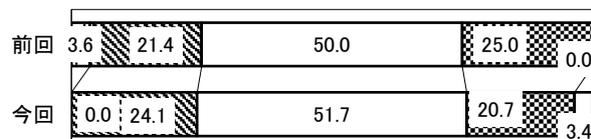
##### ⑥輸送用機器



##### ⑦精密機器



##### ⑧樹脂製品



#### ○全体

・4月～6月期の受注量の業況判断D I（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は9.0となり、前期（1月～3月期）のD I値19.1と比べ10.1ポイント減少と、全体的な基調は不変であるが、一部では減少傾向が見られる結果となった。

#### ○業種別

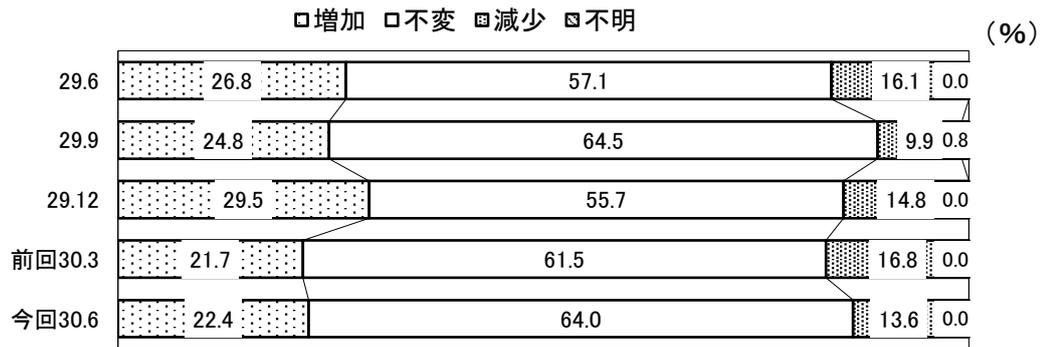
・D I値は、鉄鋼・非鉄（35.4）、一般機器（18.5）、金属製品（15.1）の3業種でプラスとなった。輸送用機器と樹脂製品は前回と変わらず、電気機器（▲2.2）と精密機器（▲22.1）の2業種ではマイナスとなった。

・D I値を前期と比較すると、プラス値となったのは、鉄鋼・非鉄のみで、6.2から35.4と29.2ポイント増加。樹脂製品のみ増減なしで、他5業種でマイナス値となった。一般機器が22.8から18.5と▲4.3ポイント、金属製品が30.9から15.1と▲15.8ポイント、精密機器が▲6.2から▲22.1と▲15.9ポイント、電気機器が18.8から▲2.2と▲21.0ポイント、輸送用機器が37.5から±0と▲37.5ポイント低下した。

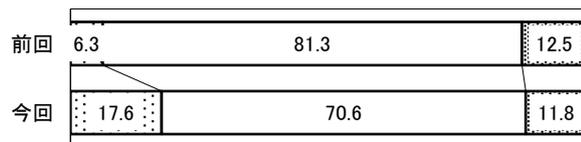
・輸送用機器、電気機器の2業種のD I値が低下している。

(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)

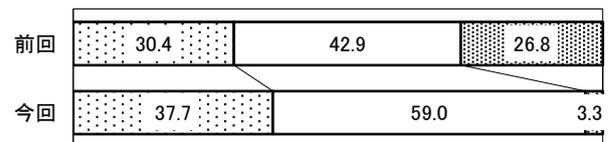
①全体



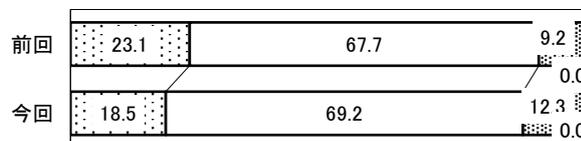
②鉄鋼・非鉄



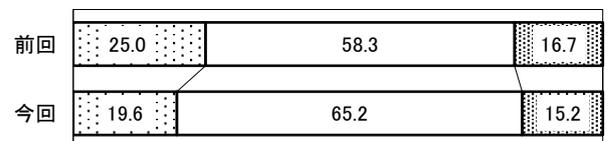
③金属製品



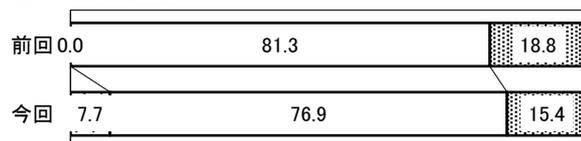
④一般機器



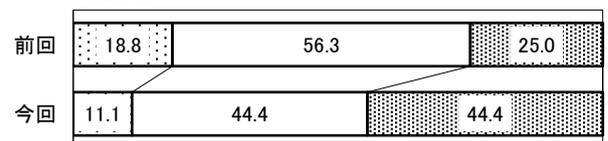
⑤電気機器



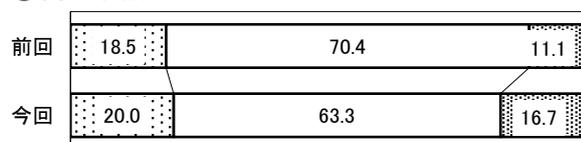
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

・次期(7月~9月期)の受注量見通しの業況判断D I (「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は8.8となり、前期調査時のD I値4.9と比べ3.9ポイント上昇した。前回、「増加」の割合が一旦落ち着いたものの、受注量は若干の増加の見通しとなっている。

○業種別

・業種7分類中D I値がプラスであったのは、金属製品(34.4)、一般機器(6.2)、鉄鋼・非鉄(5.8)、電気機器(4.4)、樹脂製品(3.3)の5業種で、精密機器(▲33.3)、輸送用機器(▲7.7)の2業種はマイナスであった。

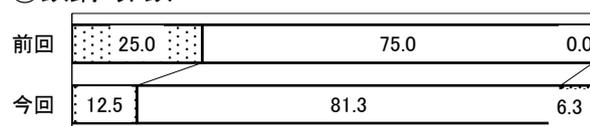
・D I値を前期と比較すると、金属製品で3.6から34.4(30.8ポイント)、鉄鋼・非鉄で▲6.2から5.8(12.0ポイント)、輸送用機器で▲18.8から▲7.7(11.1ポイント)と3業種で上昇。電気機器で8.3から4.4(▲3.9ポイント)、樹脂製品で7.4から3.3(▲4.1ポイント)、一般機器で13.9から6.2(▲7.7ポイント)、精密機器で▲6.2から▲33.3(▲27.1ポイント)と4業種で低下している。

・3業種で「増加」の割合が増加、金属製品で「減少」の割合が大幅に減少した。一方、精密機器で「減少」の割合が増加した。

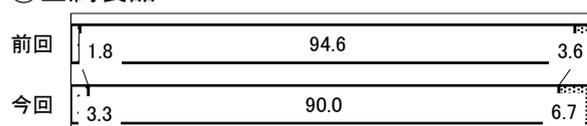
### (3) 受注単価について



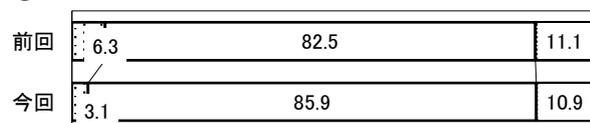
#### ②鉄鋼・非鉄



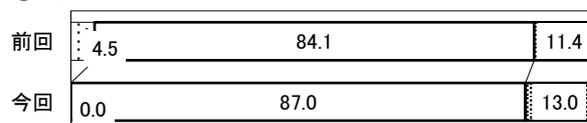
#### ③金属製品



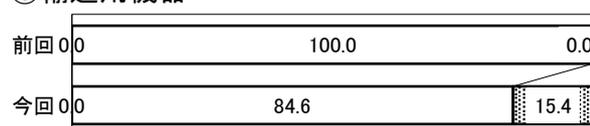
#### ④一般機器



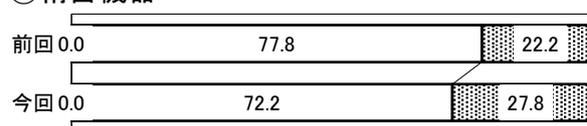
#### ⑤電気機器



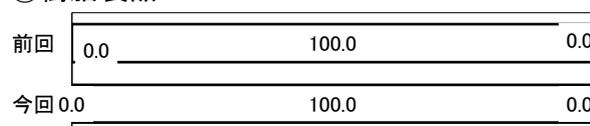
#### ⑥輸送用機器



#### ⑦精密機器



#### ⑧樹脂製品



#### ○全体

・4月～6月期の受注単価の業況判断D I（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲7.7となり、前期（10月～12月期）のD I値▲3.7と比べて4.0ポイント低下と、全体として大きな変化は見られないが、一部では受注単価の低下が見られた。

#### ○業種別

・7業種中、D I値は、前回に引き続き鉄鋼・非鉄（6.2）の1業種でのみプラスであった。全て「不変」との回答であった樹脂製品は（±0）となり、金属製品（▲3.4）、一般機器（▲7.8）、電気機器（▲13.0）、輸送用機器（▲15.4）、精密機器（▲27.8）の5業種でマイナスであった。

・D I値を前期と比較すると、樹脂製品（±0ポイント）は前回に引き続き変化がなく、その他金属製品（▲1.6ポイント）、一般機器（▲3.0ポイント）、電気機器（▲6.1ポイント）、輸送用機器（▲15.4ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲18.8ポイント）の6業種で前期比マイナスとなった。

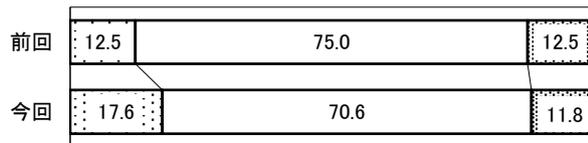
・鉄鋼・非鉄で「上昇」の回答が減少し、輸送用機器で「低下」の回答が増加した。

#### (4) 資金繰りについて

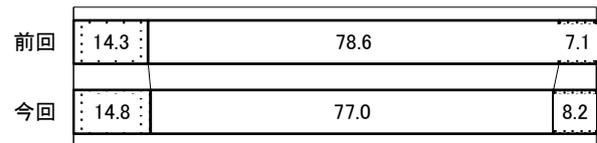
##### ①全体



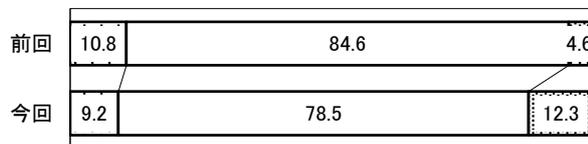
##### ②鉄鋼・非鉄



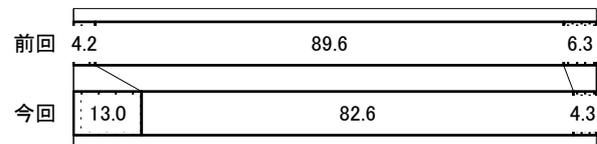
##### ③金属製品



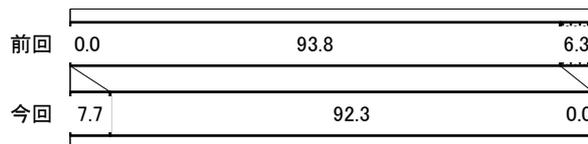
##### ④一般機器



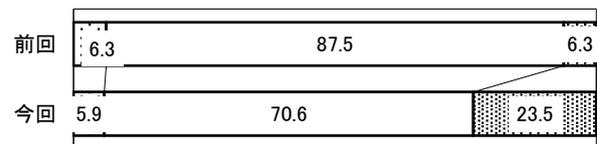
##### ⑤電気機器



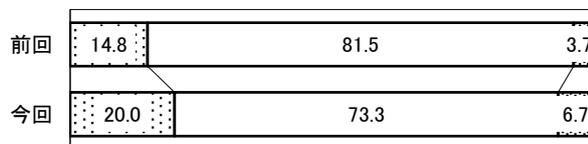
##### ⑥輸送用機器



##### ⑦精密機器



##### ⑧樹脂製品



##### ○全体

・4月～6月期の資金繰りの業況判断D1（「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は3.7となり、前期（1月～3月期）のD1 3.7と比べて±0ポイントと全体として大きな変化は見受けられないが、「好転」および「悪化」の回答割合がそれぞれ増加している。

##### ○業種別

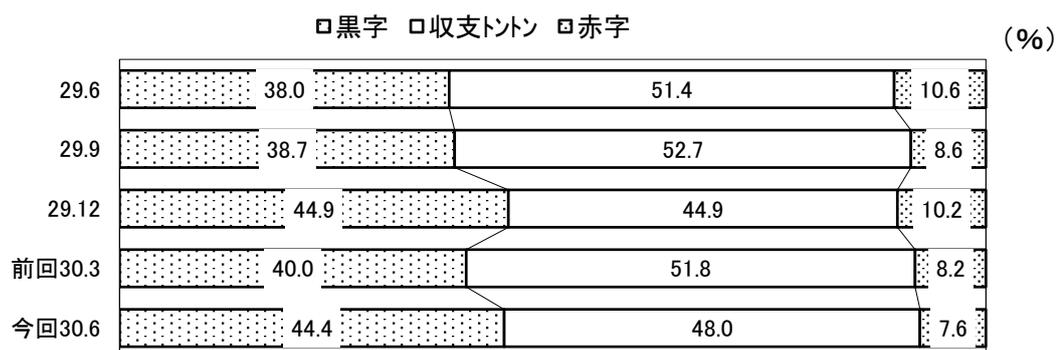
・業種7分類中D1値がプラスであったのは、樹脂製品（13.3）、電気機器（8.7）、輸送用機器（7.7）、金属製品（6.6）、鉄鋼・非鉄（5.8）の5業種。一般機器（▲3.1）、精密機器（▲17.6）の2業種でマイナスとなっている。

・D1値を前期と比較すると、輸送用機器（14.0ポイント）、電気機器（10.8ポイント）、鉄鋼・非鉄（5.8）、樹脂製品（2.2）の4業種で上昇しており、金属製品（▲0.6ポイント）、一般機器（▲9.3ポイント）、精密機器（▲17.6）の3業種が低下している。

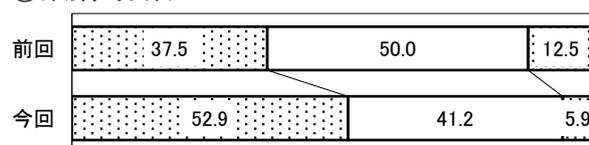
・精密機器で「悪化」の回答が増加した。

## (5) 採算状況について

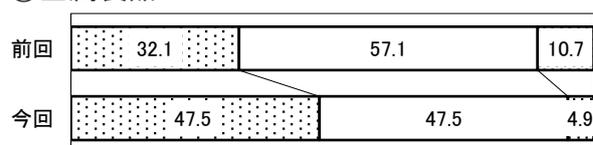
### ①全体



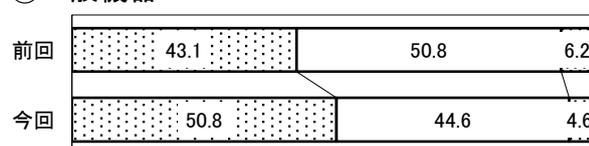
### ②鉄鋼・非鉄



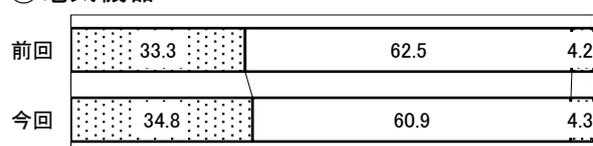
### ③金属製品



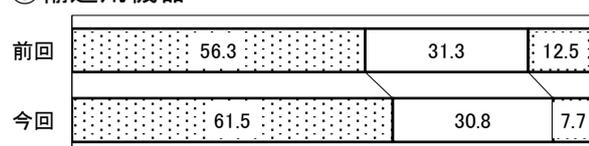
### ④一般機器



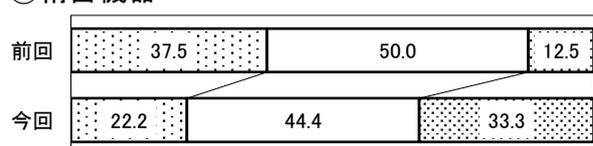
### ⑤電気機器



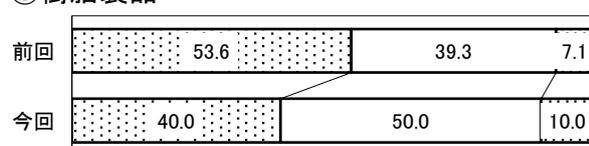
### ⑥輸送用機器



### ⑦精密機器



### ⑧樹脂製品



#### ○全体

・4月～6月期の採算状況の業況判断D I（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は36.8となり、前期（1月～3月期）のD I値31.8と比べ5.0ポイント上昇し、前期に引き続き「赤字」企業数は近年では最少となっている。

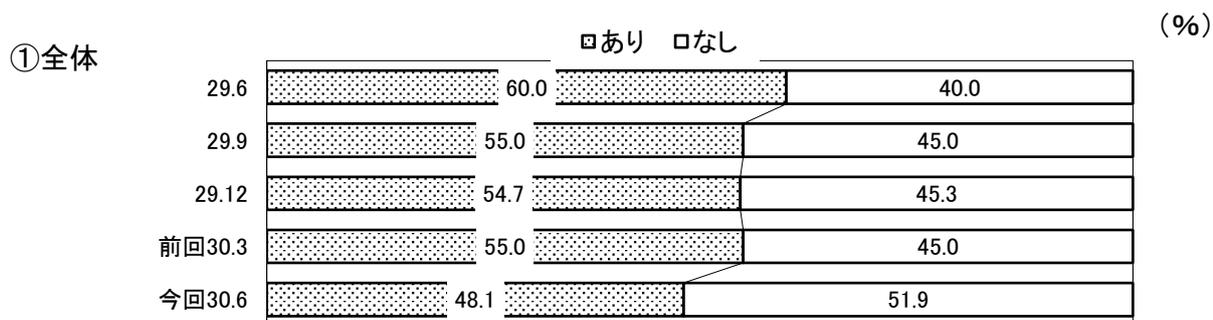
#### ○業種別

・D I値は、輸送用機器（53.8）、鉄鋼・非鉄（47.0）、一般機器（46.2）、金属製品（42.6）、電気機器（30.5）、樹脂製品（30.0）と6業種でプラスとなり、精密機器（▲11.1）のみマイナスとなった。

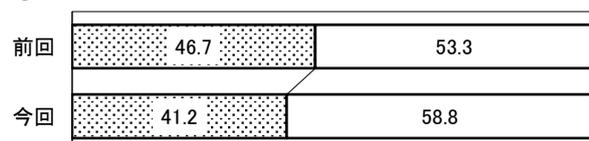
・D I値を前期と比較すると、鉄鋼・非鉄（22.0ポイント）、金属製品（21.2ポイント）、輸送用機器（10.0ポイント）、一般機器（9.3ポイント）、電気機器（1.4ポイント）の5業種で改善傾向が見られたが、樹脂製品（▲16.5ポイント）、精密機器（▲36.1ポイント）の2業種は、悪化傾向となった。

・鉄鋼・非鉄、金属製品、一般機器、輸送用機器、の4業種では、「赤字」企業が減少している。一方で、精密機器は「黒字」企業が減少し、「赤字」企業が増加した。

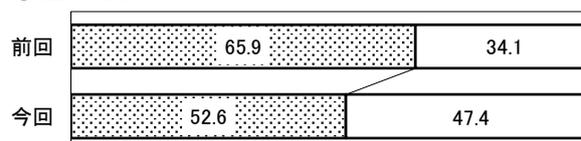
(6) 受注余力について



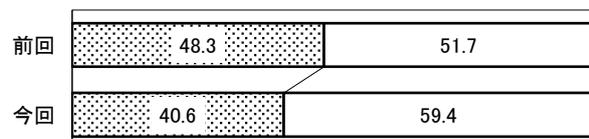
②鉄鋼・非鉄



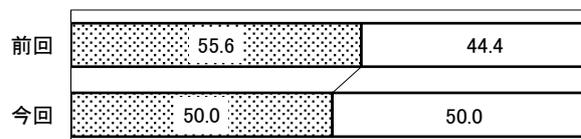
③金属製品



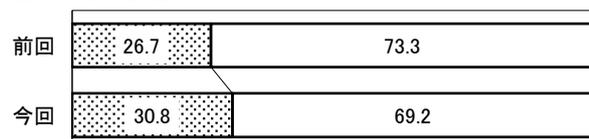
④一般機器



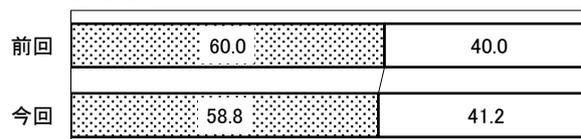
⑤電気機器



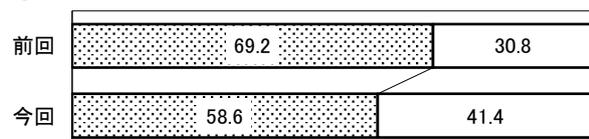
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

・4月～6月期の採算状況の業況判断DI（「受注余力あり」と回答した企業の割合から「受注余力なし」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲3.8となり、前期（1月～3月期）のDI値10.0と比べ13.8ポイント下降した。

（「受注余力なし」企業が増加した＝プラス傾向）

・4月～6月期は「受注余力なし」とする企業が51.9%と、前期と比較して6.9ポイントの増加となった。

○業種別

・業種7分類中DI値がプラスであったのは、精密機器（17.6）、樹脂製品（17.2）、金属製品（5.2）、の3業種で「受注余力あり」が「受注余力なし」を上回っている。電気機器（±0）のみ「受注余力あり」が「受注余力なし」と同数となり、鉄鋼・非鉄（▲17.6）、一般機器（▲18.8）、輸送用機器（▲38.4）の3業種で「受注余力あり」が「受注余力なし」を下回っている。

・DI値を前期と比較すると、輸送用機器（8.2ポイント）のみ前回比プラスとなり、「受注余力あり」が増加している。精密機器（▲2.4ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲11.0ポイント）、電気機器（▲11.2ポイント）、一般機器（▲15.4ポイント）、樹脂製品（▲21.2ポイント）、金属製品（▲26.6ポイント）の6業種は、前回比マイナスとなり、「受注余力あり」が減少している。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134  
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 323-5211

E-mail: market@ki21.jp

U R L : http://www.ki21.jp